

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2019_01_27 香川会場)

～みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう～

参加者 47、アンケート回収 42

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	0	
ちらし・DM	27	
友人・知人の紹介	7	
ウェブサイト・ブログ	2	当財団 HP 1
メーリングリスト	0	
その他	6	図書館 3、学校 3
合計	42	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
35	7	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
・実際に実物にふれられた。河野先生の話が良かった。 ・高松の公立小学校で支援員をしています。ICT とは程遠い環境の中、何とかならないの?と思うこともしばしばです。実物を体験できたこと、香川県内のことにとどまらず生のお話をいろいろ聞いたこと参考になりました。 ・9月中止になり残念に思っていました。また実施してくれると知り、嬉しく思いました。期待していた通り、それ以上かなと思いました。 ・DAISY のことを耳にすることはありましたが、具体的な事を知らなかったので、実物や実践を見聞きすることができたので良かったです。また DAISY など、その他の本についても知ることができて良かったです。 ・枚方図書館のお話から、聴覚障害の支援のことも知ることができたのも良かったです。 ・河野先生のお話とても分かりやすかったです。 ・障害のある人が自分の障害に合った補助を適正に使って、本を読むことが、楽に身近で楽しむことができるようになると素晴らしいと思います。障害のある人が興味関心を広げて人生をよりすばらしくするために読書は本当に良い手段だと思います。 ・具体的な実践事例があって、大変分かりやすかったことと、理論的な背景についても一緒にご講演いただいたことが良かったです。河野先生のお話が大変参考になりました。もう少し長めに時間をとっていただけると嬉しかったです。 ・いろいろな情報をいただきました。参考になりました。ぜひ現場で使ってみたいです。 ・60 分の話で構成の研修は、中だるみなく集中して聞けました。日ごろの研修は 90 分～120 分ものが多く、ヨイショがいるというのが本音で、その差を今日体感しました。 ・その昔、中～高校生のころ、「点字の本、絵本がたりていない」という話を聞いて、点字の絵本

をつくる人（点字訳する人）になりたいと思ったことを懐かしく思い出しました。それが障害のある子の世界に携わることになった原点でした。

- ・全ての子どもたちに学習の機会を与えるために、いろいろなツールがあることを知ることがまず大切だと感じました。本を楽しめる環境を私たち大人は整えていかなければならないと改めて思いました。今日は本当にありがとうございました。
- ・障害者サービスのことや学習障害について専門に携わっている講師の方から、現在の状況等についてもお話下さり、勉強になりました。
- ・うちの娘が字が読めないとわかって 15 年以上、「どうもマルチメディア DAISY というディスレクシアでも読める図書、教科書があるらしい」と知って 7~8 年経ちます。本やネットではディスレクシアに会っても、ディスレクシアに理解のある人に会っても、現実に 30 人超の方が一緒にマルチメディア DAISY を知ろうとしてくれていることを実感できてホッとしています。
- ・10 数年前に、丸亀市立中央図書館で「世界のバリアフリー絵本展」を開催しました（「子どもの本を読むお母さんの会」主催団体のメンバーです）。それ以降、バリアフリー児童書に関心を持ち続けています。
- ・わいわい文庫のような、読みの困難さのある人に向けたツールがあることが分かった。
- ・河野先生のお話がきけたこと。支援している子の中に多くの LD の子がいるので。
- ・服部さんの PC 使いがすばらしく感動しました。うちの子は ASD&知的で、電車オタクで、電車の動画しか見ません。本は全て音読。マンガも音読で、大人になるともう本は読まなくなりました。でも、わいわい文庫でぜひもう一回読書に挑戦したい！と思いました。ぜひ 1 日 1 話寝る前に、幼児のころを思い出して…。
- ・前回愛媛で話していただいたことを復習させていただく感じで理解が深まりました。さらにソフトウエア（アプリ）、Youtube 等の情報も提供してくださってありがたいです。「力蔵さん」よくできていて子どもたちに見せたいと思いました。
- ・前回参加の時とてもいいなと思ったので、読字障害を体感するグッズをもう一回見せてもらって、自作したいなと思っていました。今回また違ったお話でしたが、それも良かったです。
- ・iPad に絵本を撮って学習に使って使っていました。DAISY という初めて聞くものでしたが、声や文字を強調したり、単純化したりするものでとても面白かったです。職場でも活用したいです。
- ・一般の主婦ですが、発達障害について新しい知識を得ることができた。わいわい文庫の有効活用を紹介できると感じた。
- ・講師の方がバラエティ豊かでよかった。DAISY は専門の機械がいると思っていた、使い方も教えていただいて利用したいと思った。
- ・中学生ですが、教室に入れず校内をウロウロしたり、図書館で過ごしたりする子どもがいます。わいわい文庫はそんな子どもたちの新しい扉になるのではと感じています。また学習障害の子への代替は先生方ともお話ししたい課題であると感じました。
- ・言葉だけは知っていた DAISY の違いを体感できた。紙の本を渡しただけでは読むフリをしているだけ。今の教育は歩けない人に歩けと言っているようなもの。読書の楽しさを伝えることが大切という点がとてもとても良かったです。
- ・興味があってもなかなか実物に触れる機会のないデジ文庫や音声ソフトを見たり体験したりできたことは貴重な体験でした。また実際に使った事例なども興味深かったです。視聴覚障害だけでなく知的・学習障害にも利用価値があるというお話は初めてうかがい、大変興味深かったです。
- ・関心のあった内容について勉強できたので、本当に参考になりました。いろんな困難に向き合っている人々がいることを知り、それぞれの人に合った支援ができればいいなと思いました。とにかく来て良かったです。
- ・県内でこうしたテーマの講座は今まであまりなかった。特に河野先生の話は良かった（図書、

話し方)。

- ・知っているのと知らないとの違いで、関わる子どもさんの生活や将来が変わってしまうのは現実かもしれない。しかしできるだけたくさんの人に知ってもらえるように自分も協力したい。たくさんさんの刺激をいただきました。ありがとうございました。
- ・視覚障害者の方(当事者)の立場から、教員の立場から、専門家の立場から話が聞けて良かった。具体的な指導方法、支援方法、とても参考になりました。このような研修が地元で無料で受けられる！感謝です。時間設定もゆっくりめに始まって早く終わる。ありがたいです。
- ・障害についての基礎的な事から、教育での実践、公共図書館での実践などは幅広く知ることができた。田舎でこのようなことを聞く機会は少ない。すごく良い機会だった。
- ・勉強不足だったのですが、よく分かる説明で少し理解が深まったように思います。思いきって来て良かったです。
- ・わいわい文庫を学習活動の場で、どのように活用して実践しているのかを知ることができて良かった。できることから少しずつ始めてみるのが大切だと感じました。今後も機会があれば参加したいと思います。
- ・養護学校に勤務。図書室に DAISY 専用 iPad が 4 つありますが、紹介してもなかなか利用されていない現状。達先生のお話はまさしく私にドンピシャ。
- ・河野先生のお話は、日ごろ課題だと感じていることを整理していただいたと思いました。
- ・支援に関する情報がたくさん得られた。
- ・LD の実情、支援の工夫など新たな発見があった。またわいわい文庫について知ることができたこともよかった。今後ぜひ活用できる場を考えたい。
- ・貴重な情報を数多く得ることができ、大変ありがたく思います。すぐに活用できるアプリ、書籍などを知ることができて良かったです。職場(小学校)の先生方とぜひ共有したいお話でした。
- ・未記入：2

やや満足の理由

- ・図書館に勤めています。障害者支援のサービスがまだまだ不十分でどうすればいいかと考え参加しました。参加者が図書館関係者が少なかったのも、そのテーマでのお話が少なかったのが残念でした。とはいえ、自分の知識も不十分だったので大変勉強になりました。
- ・図書館の取り組みを知る機会がなかったので知れて良かったです。また、DAISY の活用についてのお話は、重度の子どもへの支援がとても参考になりました。DAISY が以前より身近なものになりました。
- ・我が子がディスレクシアということが一昨年分かったのだが、書く困難さに特化した支援の仕方(学校、家庭での、特にタブレット等を使った)を知りたかったが、困難さを特性として持った子を育てている親が知っている内容ばかりだったので、う～ん、もう少し実践的で専門的な事を教えて欲しかったなと消化不良感が残った。
- ・広められたら…と思います。
- ・ICT 活用の事例と、学習障害についての話が聞けて良かった。DAISY 教科書に興味関心があり、受講したが、わいわい文庫を本校に導入したいと思った。
- ・少し早口だったので。要点をまとめて短時間決められた時間で話さないといけないので、今どの本のどのページを話しているのか、自分の手持ちの資料と時差があり、どのページの何を言っているのか探すのに時間がかかった。DAISY を見ていれば事足りるのですが、紙の資料を照らし合わせて書き込むところ、メモるところがずれないように心がけました。
- ・時間が少し足りなかった。しかし ICT を使う支援の方法が少し分かった。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・河野先生の話が2時間だったら良かったです。
- ・河野先生のお話にもありましたが、学習障害の子どもは通常学級の中にうもれていることが多いので、診断のある子のみに啓発するのではなく、全校生徒を対象にプロモーションするなど、もっともっと広く知られていくと良いなあと思いました。
- ・募集50名とありますが、視聴覚ホールは200名くらい収容できるホールだと思います。募集人数が少ないので早めに申し込むように言われたのですが、9月も30名程度の申し込みだったとか。もう少し多く募集した方がもっと参加が見込めるのではないかと思います。環境はとても良いと思います。
- ・今日の機会をいただきありがとうございました。“道づれ作戦”いいですね。お二人のお人柄でどんどん広まっていくと思います。
- ・今日教えていただいたDAISYのような便利な機能をもっとサービスする側、利用する側が知って身近になったら素晴らしいと思います。
- ・大変勉強になりました。
- ・読む喜びや楽しさがどの子どもたちにも広がっていけばと思います。学習障害の子どもたちの幸せにつながればと思います。
- ・電子図書普及事業にとっても興味を持っています。ぜひ次年も研究会を開いてください。団体に対して無料で貸し出していただける制度、良心的で助かります。
- ・このような講演の機会を増やしてほしいです。
- ・もっと意識的に自分からDAISY等のアプリや資料を利用してみたいと思います。
- ・昨年11月にフェイスブック友だちが出した本を参考に「やはりうちの娘も図書館へ連れて行ってマルチメディアDAISYで読書にチャレンジさせてみよう！」と思い、12月に県立図書館に来たら、図書館の方が療育手帳を見て「これは何ですか?」。ショックでした！療育手帳が知的障害者の証明書であることが知られていないとは思っていたけれど、もしかして知的障害者が利用するのはうちの娘が初めてだったのでしょうか。
- ・ディスレクシアや聴覚障害の方への支援の実際について見ることができ、来て良かったです。学校司書の配置など学校図書館の充実のために力を尽くしています。学校でのいろいろなバリアがなくなり、一人ひとりの子どもが可能性を伸ばしていけるよう、できることに取り組んでいきたいと思います。
- ・ハードとソフトの説明があると、パソコンの苦手な人もより理解できるのでは、と思いました。
- ・タブレットや点字の本など、たくさん持って来ていただいてありがとうございました。
- ・河野先生のお話をもっと聞きたいと思いました。
- ・午前中、特別支援学校の発表があったのが聞くことができず残念です。資料をいただけたので、それで学ばせていただきます。これからもよろしくお願いします。
- ・ホームページで、Ⅱを受講したいと思いました。それで標題の下に書いてある時間を見てしまいました。時間は上に書いてあったのですね。Ⅱが聞けなくて残念。
- ・受領証は「すぐ送って」を強調しすぎると、よく試してから意見感想が書けないし…難しいですね。
- ・今までの大変なお仕事ご苦労様でした。また機会があれば参加したいです。
- ・一般児童に提供できる図書が多くなれば子どもたちも喜ぶのではと思った。市原悦子さんの日本昔話のような。
- ・民間の方のお話は面白いなあ。お疲れ様でした。
- ・次回開催されることがありましたら、その場で購入できる本(LLブック)とかあれば嬉しいです。

- ・ 3名の先生方に講師としてお話しいただきましたが、それぞれにもっと長い時間聞きたかったです。あと30分ずつ長くてもいいのに…と思いました。
- ・ 高松市図書館では DAISY を活用できていません。私も非常勤の身なのでどこまで障害者サービスが拡張できるか分かりませんが今後につながればいいなと思います。
- ・ 準備運営するのがお二人では大変だと思いますが開催してくださりありがとうございます。
- ・ ぜひとも、今後も香川で「発達性読み書き障害」に関するセミナーをお願いしたいです。まさかたったお二人でされているとは思っていなかったのも、とても驚きました。これからも頑張ってください！
- ・ 午後のみの参加ですみませんでした。
- ・ 未記入：18